

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2002-508970(P2002-508970A)

【公表日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-540252(P2000-540252)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
C 07 K	16/40	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	9/48	(2006.01)
C 12 N	9/64	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
A 61 K	38/46	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
C 07 K	16/40	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 N	9/48	
C 12 N	9/64	
C 12 Q	1/68	A
A 61 K	37/54	
C 12 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月16日(2005.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 SEQ ID NO:1、SEQ ID NO:2、SEQ ID NO:3、SEQ ID NO:4、SEQ ID NO:5、SEQ ID NO:6、SEQ ID NO:7、SEQ ID NO:8、SEQ ID NO:9、SEQ ID NO:10、SEQ ID NO:11及びSEQ ID NO:12並びにそのフラグメントからなる群から選択されたアミノ酸配列を含む実質的に精製されたヒトプロテアーゼ分子(HUPM)。

【請求項2】 請求項1のアミノ酸配列と90%以上のアミノ酸配列の相同性を有する配列を有する、HUPMの実質的に精製された変異体。

【請求項3】 請求項1のHUPMをコードする配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項4】 請求項3のポリヌクレオチド配列と90%以上の相同性を有する配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項5】 請求項3のポリヌクレオチドを含む組成物。

【請求項6】 請求項3のポリヌクレオチドとストリンジェントな条件下にハイブ

リダイズする配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項 7】 請求項 3 のポリヌクレオチド配列に相補的な配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項 8】 SEQ ID NO: 13、SEQ ID NO: 14、SEQ ID NO: 15、SEQ ID NO: 16、SEQ ID NO: 17、SEQ ID NO: 18、SEQ ID NO: 19、SEQ ID NO: 20、SEQ ID NO: 21、SEQ ID NO: 22、SEQ ID NO: 23 及び SEQ ID NO: 24 並びにこれらのフラグメントからなる群から選択された配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項 9】 請求項 8 のポリヌクレオチド配列と 90 % 以上の相同性を有する配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項 10】 請求項 8 のポリヌクレオチド配列に相補的な配列を有する単離され精製されたポリヌクレオチド。

【請求項 11】 請求項 3 のポリヌクレオチドの少なくともフラグメントを含む発現ベクタ。

【請求項 12】 請求項 11 の発現ベクタを含む宿主細胞。

【請求項 13】 SEQ ID NO: 1、SEQ ID NO: 2、SEQ ID NO: 3、SEQ ID NO: 4、SEQ ID NO: 5、SEQ ID NO: 6、SEQ ID NO: 7、SEQ ID NO: 8、SEQ ID NO: 9、SEQ ID NO: 10、SEQ ID NO: 11 及び SEQ ID NO: 12 並びにこれらのフラグメントからなる群から選択されたアミノ酸配列を含むポリペプチドを生成するための方法であって、

a) 前記ポリペプチドの発現に適した条件下で請求項 12 の宿主細胞を培養する過程と、

b) 前記宿主細胞培養株から前記ポリペプチドを回収する過程とを有することを特徴とする方法。

【請求項 14】 適当な医薬品担体とともに請求項 1 の HUPM を含む医薬品組成物。

【請求項 15】 請求項 1 の HUPM に特異的に結合する精製された抗体。

【請求項 16】 請求項 1 の HUPM の精製されたアゴニスト。

【請求項 17】 請求項 1 の HUPM の精製されたアンタゴニスト。

【請求項 18】 細胞増殖性障害を治療或いは予防するための医薬を製造するための請求項 14 の医薬品組成物の使用。

【請求項 19】 免疫障害を治療或いは予防するための医薬を製造するための請求項 14 の医薬品組成物の使用。

【請求項 20】 細胞増殖性障害を治療或いは予防するための医薬を製造するための請求項 17 の精製されたアンタゴニストの使用。

【請求項 21】 免疫障害を治療或いは予防するための医薬を製造するための請求項 17 の精製されたアンタゴニストの使用。

【請求項 22】 核酸材料を含む生物学的サンプルにおいて HUPM をコードするポリヌクレオチドを検出するための方法であって、

(a) 前記生物学的サンプルの前記核酸材料の少なくとも 1 つに請求項 7 のポリヌクレオチドをハイブリダイズさせ、それによりハイブリダイゼーション複合体を形成する過程と、

(b) 前記ハイブリダイゼーション複合体を検出する過程とを有し、前記ハイブリダイゼーション複合体の存在が前記生物学的サンプルにおいて HUPM をコードするポリヌクレオチドの存在と相互関係を有することを特徴とする方法。

【請求項 23】 前記生物学的サンプルの前記核酸材料が、ハイブリダイゼーションの前にポリメラーゼ連鎖反応により增幅されることを特徴とする請求項 22 に記載の方法。